

その愛は... ぼくたちを自由にする

ICare本のしおりにして一か月間生きるよう思い出しましょう。

ニック  
オランダ

**ぼ**くはいつも自由にして  
いることが好きで、それ  
は自分のしたいことをす  
ることだった。  
ぼくはスケートが好きで  
夏休みには一日中して  
いることもあった。



分かれ道で、  
決断をせまられて

いっしょにしているグ  
ループは二つに分かれ、  
お互いに悪口を言ってい  
た。ぼくが入っていたグ  
ループは態度がずいぶん  
変わってお酒を飲んだり  
、麻薬をしたりするよう  
になった。

あまりお酒を飲みすぎてスケートに乗ることもできない様子  
だった。

そうでなくても、よっぽらってみんなとけんかしていた。  
ぼくは飲むことはしなかったけれど、きっとすぐに気持ちが  
弱くなって飲み始めたと思う。

あるとき、仲間のひとりのお母さんが、そうした状況がわ  
かって、母親に話しにぼくの家に来た。

二人が話している時、ぼくは自分の部屋に閉じこもって  
いた。ぼくは誤った道を取ったことに気がつき、もしこう続けて  
いたら、きっとひどいことになっただろう。

ぼくは、分かれ道にきて、決断を迫られているようなもの  
だった。この仲間を選ぶか、別の友である神を選ぶか。ぼく  
はそうした環境を捨てることを決心した。

スケートでいくことで、ぼくの好きなことだったけど、今ま  
もうそうしたこともぼくをしるることでなくなって、本当に自  
由を感じた。

ニックの経験をどう思う？

キリスト、  
教会の唯一の土台。  
(コリントの信徒への手紙一・3・  
11参照)

Da un commento di Chiara Lubich - Adattamento Centro Gen 3

**キ**リスト教一致祈禱週間では、キリストが唯一の土台で  
あることを、共に思い起こします。キリストの教えを自ら  
のものとし、唯一の福音を生きることによって、諸教会  
の間に目に見える満ち満ちた一致が実現することを、  
共に思い起こすのです。



- 考えること
- 望むこと
- 生きること
- イエスのように

**キ**リストを土台として生活を築くとは、キリストと一体にな  
るということです。それは、キリストのように考え、キリス  
トのように望み、キリストのように生きることを意味しま  
す。しかしキリストを土台とし、彼に根付いて生きるには、  
どうすればいいでしょうか。  
どうすればキリストと一体になれるのでしょうか。  
福音を実践することによってです。



- 私のなかで
- イエスの
- 言葉が
- 生きている

**私**たちがイエスの言葉を生きるなら、いえむしろ、「み言  
葉が私たちを生き」、私たちが「生きたみ言葉そのもの」  
にしてくれるなら、私たちは本当にイエスに近づき、イエ  
スと一体になれるでしょう。  
このように生きるなら、私たちが全キリスト者の一致の  
実現に貢献することになるでしょう。  
肉体は生命を維持するために、呼吸をします。同様に  
魂がいのちを保つために、み言葉を生きるのです。



- 愛しなさい。
- それから
- なんでも
- 思うままにしなさい。

**私**たちはみ言葉を生きる時、さまざまな人間的条件から  
自由になり、喜びと平和、光に満たされ、シンプルになり、  
充実感を体験します。み言葉を生きるなら、私たちが  
もう一人のキリストに少しずつ変えてくれます。聖アウグ  
スチヌスは「愛しなさい。それから何でも思うままにしな  
さい」と言いました。私たちが、愛する時には過ちを犯さず、  
完全に神のみ旨を成就することができるからです。